

「見守りが必要な高齢者の暮らしぶりの伝わるシート」活用について

H28. 8. 26

◇背景◇

ひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増える続ける中で、離れた家族との関係が希薄になっている方もみられるようになってきました。地域の見守りメンバーに支えられ生活している様子を家族に“伝える”ことが必要なケースが出てきています。そんな家族をつなぐ何らかの手立てはないか検討しました。

◇目的◇

「見守りが必要な高齢者の暮らしぶりの伝わるシート」（資料1-1以降シートと記載します）を使用し、見守りが必要な高齢者の暮らしぶりを離れて暮らす家族へ伝え、高齢者と家族をつなげるきっかけをつくる

◇シートの具体的な活用法◇

対象者

- (1) 本人がシートを出すことに同意している方
- (2) 緊急連絡先が分かる方
- (3) 民生委員や地域の方、離れた家族に「見守り」の状況を知らせてほしい方
(ある程度心配な事情等の近況が分かっている方)

以上の条件を満たす「ゆるやかな見守り」の方に対して、

「見守り確認票」（資料1-2）を提出していただいた方。

区役所・支所が管理しご家族からの窓口となって、作成・連絡のつなぎ役となる。

◇民生委員の役割◇

- 見守り活動のツールの一つとして活用していただくものであり、必要と感じられたときに「見守り確認票」をご本人から聴き取りし記入していただき福祉課へ提出していただきます。
- ご家族から問い合わせがあった場合、福祉課職員が近況をおうかがいします。
- 連絡先をお知らせしても良いと了承をされた方については、直接家族からご連絡がある場合があります。

◇今後の流れ◇

民生委員・児童委員協議会会長連絡会に部会の取組結果として報告。